

糖尿病対策の強化 ～令和5年度実績・進捗～

【目標3】

- 糖尿病（重症化）リスク者を適切なタイミングで拾い上げ、必要な支援を実施することができる。
- 治療効果を高めるため、減塩指導を強化（対象者の食塩摂取状況の確認、指導媒体の作成等）する。

【ステップ3（令和5年度）】

実績・進捗

1 南檜山糖尿病重症化予防プロジェクト

- ・生活・栄養指導対応件数（12件）※事務局での報告票受理数（R5.11.30時点）
 - ～指導対象は40-70歳代の者であり、保健師・管理栄養士が病識の獲得に向けた指導や、個性に応じた運動・栄養・服薬指導といった具体的な支援を実施。複数回に及ぶ支援の中では家族に対する指導も行い、治療を含む生活習慣改善に向けた取り組みを継続できるよう支援している。
 - ～江差町及び上ノ国町の医療機関からの指示となっており、他3町医療機関からの指示票の提出はない状況。
 - ～各町が把握できない患者層について、医療機関との情報共有が必要。
- ・事業推進に向けた関係機関調整
 - ～道立江差病院との患者状況の確認、事業対象者の精査に向けた打合せ、関係職員への事業説明。
 - ～管内各町との事業対象者の共有、保健指導の実態確認。
 - ～今後実施予定の看護連携推進検討会議やプロジェクト推進チーム会議における意見交換。

2 普及啓発

- ・「あいうえお塩分表」の配布（随時）
- ・糖尿病性腎症を考える会 in 南檜山医療圏（9月）
- ・世界糖尿病デーにおけるポスター掲示（11月）